

加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進						
①	幼児を対象とした運動遊びの充実	なかよし運動会 おひさまクラブミニ運動会	こども政策課	【子育てプラザ】なかよし運動会 令和4年10月18日に日岡山体育館で実施。参加者は親子73組の計157名。 【志方児童館】おひさまクラブミニ運動会 令和4年9月28日に東加古川子育てプラザで実施。参加者は親子9組の計18名。	【子育てプラザ】なかよし運動会、お楽しみ会(ヨガ、親子ダンス等) 親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に実施する。 【志方児童館】親子のおひさまクラブミニ運動会、お楽しみ会(運動遊び) 年齢に応じたプログラムとし、できるだけ楽しく参加できることを目的として実施する。	子育て世代がより楽しめる充実したイベント、プログラムになるよう、事業実施後のアンケートを行うなど、参加者のニーズ把握に努める。
		加古川スポーツカーニバル(親子ふれあい体操)	スポーツ・文化課	11月3日(木・祝)に開催した「第10回加古川スポーツカーニバル」のプログラムの一つであり、年長～小学3年生とその保護者を対象にして、親子で一緒にできる体操やボール遊びなどを実施した。延91名(45組)の参加があった。	11月3(金・祝)に市立総合体育館にて開催予定。実施内容については加古川市スポーツ推進委員会と検討する。	親子ふれあい体操については、平成30年度より実施しており、今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
②	学校におけるスポーツ活動の充実	放課後子ども教室	社会教育課	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、小学校及び公民館において様々なスポーツ活動を実施した。 小学校では、地域のボランティアの指導のもと、ソフトボールやハンドボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施した。 また公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、卓球などのプログラムを実施した。	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、昨年度に引き続き、小学校及び公民館において様々なスポーツ活動の実施を予定。 小学校では、地域のボランティアの指導のもと、ソフトボールやキンボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施予定。 また公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、卓球などのプログラムを実施予定。	事業を継続的に実施していくにあたり、事業を統括するコーディネーターや活動の中心となる地域ボランティアの確保・育成が課題。また、新たなプログラムの導入を検討する必要がある。
		中学校部活動支援事業	学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数-32名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和4年度配置 配置校-11校(加古川、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数-16種目(野球3名、バレーボール4名、バスケットボール2名、ソフトテニス2名、陸上競技3名、柔道3名、剣道4名、バドミントン2名、ハンドボール1名、卓球1名、吹奏楽2名、生活1名、コーラス1名、演劇1名、国際交流1名、美術1名)	加古川市中学校部活動外部技術指導者数-32名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和5年度配置予定 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数-未定	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズは年々高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。加えて、令和3年2月17日付け文科省通知『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等についてを受けて、本市における部活動についてのあり方を検討するとともに、外部技術指導者に係る規則の整備など、引き続き検討していくことが必要である。
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進						
①	ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	スポーツライフセミナー	スポーツ・文化課	新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種会場開設状況により中止。	スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけを提供することを目的に実施予定。「エンジョイコース」を加古川市スポーツ推進委員会に、親子でも参加ができる「小学校コース」をNPO法人加古川総合スポーツクラブに協力依頼し、実施予定。	参加者がスポーツライフセミナーを通じて、スポーツをするきっかけとなり、NPO法人総合スポーツクラブに加入するなど、継続してスポーツに取り組んでもらえるよう積極的に働きかける必要がある。
②	女性がスポーツに参画しやすい環境整備	アンケートの実施	スポーツ・文化課	新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種会場開設状況により中止。	令和2年度に実施したアンケートを基に、女性のスポーツ参画向上を目指した取組を検討する。	スポーツの実施率が低い女性がスポーツに興味を持ち、短時間でも時間を割くことができる事業を検討する必要がある。
③	高齢者スポーツの推進	シニアクラブ活動	高齢者・地域福祉課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内のシニアクラブ(106クラブ4,939名)が主体となって実施。	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内のシニアクラブ(103クラブ4,800名)が主体となって引き続き実施予定。	シニアクラブ数、シニアクラブへの加入者数とも減少している。
(3) スポーツに関心のない人へのはたらきかけ						
①	スポーツとの多様な関わり方の提案	OCTOBER run&walk 2020 (オクトーバーランアンドウォーク)	スポーツ・文化課	一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する10月1ヶ月間の中での歩行、走行距離を自治体間で競うイベントに市として参加することで、場所を選ばず各々でスポーツを実施できる機会を市民へ提供した。 全国349自治体が参加し、加古川市ではランニングの部で133人、ウォーキングの部で151人の合計284人が参加した。	実施については連絡がなく未定であるが、実施する場合は公民館や市民センター等の市内各施設、スポーツネットワーク委員会やスポーツ協会等の関係団体へ案内を送付する。	なし。
		スポーツ能力測定会	スポーツ・文化課	11月3日(木・祝)に小学校4～6年生を対象に、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施。168名の参加があった。	11月3日(金・祝)に、小学校4～6年生を対象として、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施予定。	定員200名に対し申込が194名だった。令和5年度については、募集期間を長くするとともに、周知方法について検討が必要である。

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
②	ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等による街歩きを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR

(4) 競技スポーツの推進

①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	選手育成機会の提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が実施する小学生を対象としたスポーツ体験教室や、ジュニアスポーツ教室及び関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクト、国体出場選手の大会記録を周知する広報誌等について、市内中学校や、スポーツクラブへ配付を行った。	県スポーツ協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、市内小学校やスポーツ協会、スポーツクラブへ周知を行う。	子どもたちが参加するイベント等において、申込につながるような周知に努める。
		選手育成コース	運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、水曜コースは701名の参加があった。土日曜コースは675名の参加があった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、前期484名、後期423名の参加があった。 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの教室開催となったが、全日程を無事に終えることが出来た。引き続き、参加者が安全に参加出来る教室開催を目指す。 ②投てきコース 中学生対象の教室で県大会や全国大会の大舞台での活躍を目指したトレーニングを実施した。昨年度は94名の参加があった。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し教室を開催した。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行った。昨年度は290名の参加があり、前年度と比べると2倍近く増加した。	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、バランスの取れた身体作りを基本とし、春から秋にかけては、短距離走、リレー、走り幅跳び等、冬は長距離走や駅伝の練習を行う。1年を通して参加出来る教室の実施を目指す。 選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、「短距離・跳躍」「中・長距離」班に分けて、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行う。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とする。砲丸投げ、円盤投げを中心とした専門的なトレーニングを行う。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行う。広報掲載により更なる参加者の獲得を目指す。	①毎年多くの生徒が参加され、地域に浸透している教室なので、より多くの参加者獲得を目指し、参加する生徒さんに満足頂けるような教室を実施する。 ②教室の参加者、卒業生が、中学、高校に進学し、大会で素晴らしい活躍をしている。引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 ③昨年度のリフレッシュウォーキング教室は多くの新規参加者が増え、地域に浸透しつつある。継続して参加出来る教室開催を目指す。 新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、コロナ禍以前の生活に戻りつつあるが、新型コロナウイルス感染が収まったわけではないため、引き続き安心して参加出来る教室開催に努める。
		バスケットボール教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施した。 日時:令和4年8月20日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施する。 日時:令和5年8月予定 場所:総合体育館	なし。
		バレーボール教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 日時:令和4年7月30日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施する。 日時:令和5年7月予定 場所:総合体育館	なし。
		ニシカワ食品株式会社 パニーちゃんカップ 加古川俊足王決定戦	ウェルネス協会	令和4年5月4日(祝・水)開催。 従来の予選～決勝の方法での開催は、長時間の滞在時間になるため、参加者の多い小学生を3ブロックに分け、中学生ブロックと合わせて、4ブロックに分けて開催した。4ブロックに分けたことにより、受付・駐車場の混雑がなくなり、スムーズな開催が出来ました。	令和5年5月4日(祝・木)開催予定。 予選～決勝の方法での開催は、長時間の滞在時間になるため、参加者の多い小学生を3ブロックに分け、中学生ブロックと合わせて、4ブロックに分けての開催。	参加者が多く、駐車場の確保が課題となっていました。4ブロックに分けたことによりそれは解消されました。しかしながら、順位をきめる決勝ラウンドが無くなってしまったことは、参加者のモチベーションを考えると開催するべきである。コロナ禍の終息にあわせて、決勝ラウンドの再開を考えたい。
		加古川韋駄天決定戦	ウェルネス協会		令和5年11月25日(土)開催予定。 走ることは全てのスポーツの基本となることから、スポーツをする子供たちが増えることを目標に加古川俊足王決定戦(50m走)を開催しているが、その長距離版となる大会を開催する。	対象は小学生のため、体力にも差があることから、学年や性別により、走る距離を考慮したい。駐車場の確保を考えたコース設定が必要。
		ウェルネス陸上競技教室	ウェルネス協会		開催日未定。 スポーツの基礎となる「走る・跳ぶ・投げる」をテーマに、未来を担う子どもたちがアスリートの実力を体感し、今後のスポーツ活動に活かすことを目的に、トップアスリートを講師に招いた陸上競技教室を開催します。	2023年は世界選手権が開催されるため、トップアスリートとの日程調整が必要になってくる。
		バドミントン教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施した。 日時:令和5年1月21日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施する。 日時:令和6年1月予定 場所:総合体育館	なし。

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	小学生ボート体験教室	漕艇センター	今年度は、12人の参加があり市民レガッタにジュニア部門で1クルー参加した。クルー名は「メダッカ」。そのうちの2名は漕艇センター利用団体に加入し、現在も活動している。	5月6日(土)・7日(日)に開催予定。今年度も対象者を小学4年生～6年生とし、市民レガッタのジュニアの部への参加を促す。	参加者獲得の為、広報や漕艇センターのホームページ等で発信している。また、チラシを作成し、市内の小学校及び公共施設に配布している。ニッケパークタウンでのエルゴマシ体験会でも宣伝する予定。
		加古川市民さわやか賞	総務課	文化、スポーツ等の分野でめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えている個人及び団体を表彰した。 ※R2:5件、R3:22件、R4:24件(スポーツ分野のみ)	関係者からの推薦等により、全国的規模の大会等で優秀な成績を収めた個人又は団体を把握し、表彰する。 表彰式は9月、12月、3月を予定。	関係者からの推薦を待つだけでなく、新聞記事やマスコミ報道等を注意深く確認するなどして候補者の把握に努める必要がある。
②	競技スポーツ指導者の育成・確保	障がい者スポーツ指導者の育成	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員に対して、兵庫県障害者スポーツ協会が主催する「障害者スポーツ指導者講習会」への参加を促し、新たに1名の委員が公認障害者スポーツ指導員の資格を取得した。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用を検討する必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 障がい者スポーツの振興						
①	障がい者スポーツの組織基盤の整備	障がい者スポーツ指導員講習会への参加促進	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員に対して、兵庫県障害者スポーツ協会が主催する「障害者スポーツ指導者講習会」への参加を促し、新たに1名の委員が公認障害者スポーツ指導員の資格を取得した。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用の場を検討する必要がある。
②	スポーツ施設における障がい者等の利用促進	総合体育館改修事業	スポーツ・文化課			障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用について検討していく。
③	障がい者スポーツの実施機会の増加	ふれあいスポーツ教室	障がい者支援課	障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供することを目的に、ふれあいスポーツ教室を3回実施した。8月にスポーツ・文化課と共同開催する『かこバラスポーツ王国』、10月にポッチャ、11月にサウンドテーブルテニスを行った。サウンドテーブルテニスを除き、スポーツ推進委員に参加いただいた。	昨年と同様に全3回で実施予定。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施する必要がある。
		加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(木・祝)に市立総合体育館にて4年ぶりに開催し、約1,800名の参加があった。 『『スポーツを文化に!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～』をテーマとして、親子を対象とした体操やバラスポーツを含む様々なスポーツの体験コーナーを行い、市民に対してスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3日(金・祝)に市立総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討する。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		かこバラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	8月21日(日)に市立総合体育館にて4年ぶりに開催し、262名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供した。また、兵庫県障害者スポーツ協会と連携し、パラリンピアンを招き、参加者と交流を行った。 体験種目:ポッチャ、ローリングバレーボール、卓球バレー、ふうせんバレーボール、フライングディスク	8月20日(日)に市立総合体育館に開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容(規模や対象等)を検討する必要がある。
		加古川市ポッチャ交流大会	スポーツ・文化課		9月30日(土)に市立総合体育館にて開催予定。 かこバラスポーツ王国や加古川市バラスポーツチャレンジ(障がい者スポーツ)出前講座を通して普及しているポッチャで、交流大会を開催することにより、スポーツ交流を促進し、バラスポーツへのさらなる理解と普及を図る。	なし。
④	ノーマライゼーションの推進	加古川ツデーマーチ	スポーツ・文化課	今年度より、市の補助制度が廃止となったなか、バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施した。	バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施予定。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	市民に開かれたバリアフリーな大会を目指し、聴覚障がい者(児)及び視覚障がい者(児)の参加者に配慮した。	市民に開かれたバリアフリーな大会を目指し、聴覚障がい者(児)及び視覚障がい者(児)の参加者に配慮していく。	なし。
(2) 健康・体カづくり事業の推進						
①	健康・スポーツに関する情報発信	健康づくり支援事業	市民健康課	健康づくり支援事業では、市民健康課公式LINEアカウントで、動く・食べる・休むの3つのテーマから1つずつ目標を選択し、100日間取り組む「LINEde健康応援!」を実施した。参加者は延620人で、参加者には、週1回健康に関する情報を配信した。関連した参集型イベント(秋の運動教室&ウォーキングラリー)では、延135人が参加し、プラス10の普及啓発、日常生活で取り入れられる運動実技の実践を行い、市民の主体的な健康づくりの支援を行った。	引き続き市内関係課及び関係施設と連携し、事業やイベントを実施する。 また、健康づくり支援事業についても継続して実施する。また関連した参集型のイベント(運動教室&ウォーキングラリー)を6月に実施予定。	市内及び市外の関係団体と協力し、運動・身体活動の推進体制の確立とともに、連携の強化を図り、運動しやすい環境づくりや機会の検討・推進、取り組みを継続できるように支援を行っていく必要がある。
		特定保健指導	国民健康保険課	新型コロナウイルス感染拡大防止と健康づくりの両方の視点から、参加人数を制限し、換気を行う等の感染対策を行いながら実施した。 特定保健指導対象者に対して、生活習慣の改善を目的に、活動量を高められるよう運動教室を開催した。対象者には、体重記録表を配布し、継続的に体重を管理しながら、運動習慣を身に付けられるよう支援した。また、社会教育課作成の生涯学習ガイドブック「すてっぶ」や、市民健康課の健康づくりオンライン講座(YouTube)のQRコードを掲載したチラシを特定保健指導利用者へ配付した。	感染症対策に配慮しつつ、特定保健指導を実施する。特定保健指導対象者を対象とした運動教室を開催予定。特定保健指導終了後も運動を継続することができるよう、「すてっぶ」や健康づくりオンライン講座のQRコードを掲載したチラシを配付し情報提供を行う予定。	数年間続いた新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染予防策として外出の機会が減少した市民も多く、特定保健指導対象者においても活動量が低下している可能性が高い。また、運動教室に参加しても自宅での継続が困難な対象者も多い。運動教室等で経験した運動や、特定保健指導での取り組みを継続できるよう、地域のスポーツに関する社会資源の情報提供等、運動の習慣化に向けた支援を行っていく必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
①	健康・スポーツに関する情報発信	いきいき健康サークル	市民健康課	加古川市が実施する保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操、レクリエーション等心身ともに健康を促す運動の普及啓発を行った。また、「フレイル」の知識の周知や「効果的なウォーキング」の実践、「ながら運動」やプラス10の普及啓発を実施した。令和4年度の地域での活動数は38回、指導人数は478人である。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自宅でできる運動の動画撮影に協力し、YouTubeで配信した。	引き続き、心身ともに健康を促す運動や知識の普及啓発を行う。また、引き続き自宅でできる運動の動画撮影に協力し、YouTubeで配信する。	会員の多くが60歳以上であり、会員の高齢化が課題である。また、地域でボランティア活動を行う会員に偏りがあるため、全体の資質向上、新規会員のスキルアップを検討する必要がある。
②	散歩・ウォーキング・健康体操の推進	<再掲> かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		<再掲> ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等による街歩きを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR
		ラジオ体操の推進	スポーツ・文化課	事業の中止や、依頼がなかったことから、実施していない。	スポーツライフセミナーや高齢者大学、いきいき健康サークル等の講習会においてスポーツ推進委員がラジオ体操の指導を行う予定。	なし。
		いきいき百歳体操活動支援	高齢者・地域福祉課	・「いきいき百歳体操」の継続支援及び新規立上げ支援を行った。 ・「いきいき百歳体操」にて、介護予防・健康づくりの普及啓発を行った。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内5箇所で実施した。	・「いきいき百歳体操」の継続支援及び新規立上げ支援を行う。 ・「いきいき百歳体操」にて、介護予防・健康づくりの普及啓発を行う。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内6箇所で実施する。	「いきいき百歳体操応援隊講座」講座修了者がより活躍できる場や方法を検討していく。 実施会場となる施設等を開拓するなど、新たな場所の確保が必要である。
③	スポーツ推進委員会の活用	スポーツ推進委員派遣事業	スポーツ・文化課	令和4年度は、10回の派遣事業を行い、市民のスポーツ活動の推進を図った。	市民がスポーツ・レクリエーション活動を行う際に、要望に応じてスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ活動の推進を図る。	スポーツ推進委員会について市民に周知し、積極的な活用を促す必要がある。
		スポーツ推進委員研修会	スポーツ・文化課	イベントの開催に向けて、指導力向上研修会を4回開催し、資質向上を図った。	毎月1回程度、指導力向上研修会を開催し、スポーツ推進委員としての資質向上を図る。	なし。
(3)スポーツを通じた地域活性化						
①	地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	公民館活動	社会教育課	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行った。	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	なし。
		少年団活動	青少年育成課	加古川市連合少年団(市内16団)は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、各地区の少年団において、感染対策を行い、スポーツ活動の実施を行った。また連合少年団としては、アワイチ(淡路島1周自転車走破)等の事業を実施した。	加古川市連合少年団(市内15団)は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。 令和5年度から各地区の少年団において、これまで3年間、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業ができていなかったが、今後は感染対策を行いながら、スポーツ活動の実施を推進する。また連合少年団としては、サバイバルキャンプ、アワイチ等の事業を予定している。	少年団員数は、令和元年度の7,742人に比較し、令和4年度には6,054人と減少しており、各地区の少年団のソフトボール、バレーボールチームの活動も縮小傾向となり、各地区でのチーム編成ができず連合チームでの活動が増加している。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今後も十分な感染対策を行いながら各地区の活動を行っていく必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツイベントの開催	<再掲> 加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(木・祝)に市立総合体育館にて4年ぶりに開催し、約1,800名の参加があった。 『『スポーツを文化に!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～』をテーマとして、親子を対象とした体操やバラスポーツを含む様々なスポーツの体験コーナーを行い、市民に対してスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3(金・祝)に市立総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討する。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		<再掲> かこバラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	8月21日(日)に市立総合体育館にて4年ぶりに開催し、262名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供した。また、兵庫県障害者スポーツ協会と連携し、パラリンピアンを招き、参加者と交流を行った。 体験種目:ポッチャ、ローリングバレーボール、卓球バレー、ふうせんバレーボール、フライングディスク	8月20日(日)に市立総合体育館に開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容(規模や対象等)を検討する必要がある。
		加古川カップ綱引大会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、スポーツを通して気軽に健康・体づくりや仲間づくりをすることを目的に、2月26日(日)に市立総合体育館にて4年ぶりに開催した。 「企業対抗の部」、「男子の部」、「女子の部」、「男女混合の部」、「小学生の部」、「チャレンジの部」の5部門で開催し、32チーム、約300名が参加した。(※「市内小学校対抗戦」は募集していない。) なお、広報手段として、校長会における参加促進の依頼、募集要項等の小学校・公共施設への配付、広報かこがわや市ホームページでの記事掲載、等を行った。また、加古川商工会議所を通して企業に対しても積極的にPRをした。	2月25日(日)に市立総合体育館にて第35回大会を開催予定。 令和5年度については、募集開始時期を1ヵ月前倒し、早期にPRを行う予定。 部門については、主催団体の加古川市スポーツ協会にて検討する。	これまで「市内小学校対抗戦」は大変な盛り上がりを見せており、学校からも小学生最後の思い出作りとして好評であったが、教職員の働き方改革のため休日に児童を引率して大会に出場することが難しい状況に変化している。今後のあり方について検討する必要がある。
		健康・体づくり事業	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会・教室を実施。令和4年度については、11事業を実施した。	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会、教室を実施予定。	協会に加入していない一般市民の参加のさらなる増加に向け、事業実施の検討を行う。
		加古川市民レガッタ	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	7月30日(土)・31日(日)にワールドマスターズゲームズ2021関西加古川市オープン競技ポート大会(兼)第29回加古川市民レガッタとして開催した。	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、8月5日(土)・6日(日)の2日間にわたり市民レガッタを実施予定。	猛暑の中での開催となっており、熱中症対策等の対応が課題である。
		加古川レガッタ(関西学生秋季選手権)	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	11月4日(金)～11月6日(日)に開催した。	加古川市立漕艇センター前コースで11月3日(金)～5日(日)の3日間で開催予定。	使用出来る風呂の数が足りないため、近隣民間銭湯等の協力が必要である。また、各近隣町内会長のご意見を参考にしながら大会準備を進める。
		カヌーイベント	スポーツ・文化課	7月2日(土)・3日(日)にカヌー体験イベント、9月24日(土)・25日(日)にカヌーPRイベントを開催した。PRイベントではオリンピックを招へいた。	7月1日(土)・2日(日)にカヌー体験イベント、10月21日(土)・22日(日)にカヌーPRイベントを開催予定。PRイベントのゲストは未確定。	なし。
		加古川ツーデーマーチ	スポーツ・文化課	加古川ツーデーマーチ実行委員会が主催し、「歩いて体感 心と体のウェルネス」をテーマとして実施する。コロナ対策として開催日を11月13日(日)の1日とし、参加者定員(2,000人)を設定、事前申込のみとし当日申込を廃止する。距離は市内を巡る20・10・5kmとする。	心と体の健康を目的に加古川ツーデーマーチ実行委員会が主催し、11月11日(土)・12日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催予定。設定コースは両日とも3コース(20・10・5km)。 また、ウォーカー向けサービスとして中央会場内で看護協会、柔道整復師会、はり灸マッサージ師会等による無料健康チェックや相談等も行う予定。	参加者数の動向や、参加者の満足度を調査し、今後の事業の方向性を検証していく必要がある。
加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	市民参加型スポーツイベントとして加古川マラソン大会実行委員会主催し、12月18日(日)に加古川河川敷で実施した。加古川大橋の工事等の影響により、今回から会場とコースを変更し、新たに公認申請をし、承認を得た。参加コースはフルマラソン・10km・中高生3km・ファミリー2kmとした。	市民参加型スポーツイベントとして加古川マラソン大会実行委員会主催し、12月17日(日)に加古川河川敷で開催する予定。設定種目はフルマラソン・10km・中高生5km・中学生3km・ファミリー2km。	参加者数が減少傾向にあるが、減少防止の工夫をし、コースの安全確保・救護体制の充実を含めた、大会レベルの維持向上を目指す。		

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
③	地域でのスポーツイベントの開催	世代間交流学習会	社会教育課	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施した。	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施する。	規模の小さい町内会や、高齢化が進む町内会では、世代間交流学習会の実施が困難な地域がある。
④	ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	ホストタウン交流事業	政策企画課 スポーツ・文化課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを縮小開催したことから、活用機会がなかった。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	これまで築き上げた信頼関係を大切にするとともに、今後どのように展開を図っていくか検討が必要である。
		加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課			スポーツサポーターの活用方法等を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 身近に利用できる「場所」の確保						
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ①キッズダンス教室に保護者の方も参加出来る枠を作り、子供と一緒にダンスを楽しんでいる。 ②昼間の閑散時間に、高齢者を対象とした身体を動かせるスポーツ教室開講を検討したが、開催には至らなかった。 ③4歳以上を対象としたバレエ教室を開催した。4～6歳児、小学1～3年生の2クラスに分けて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親子で参加出来る教室開講を検討している。 ②昼間の閑散時間に、高齢者を対象とした身体を動かせるスポーツ教室開講の検討をしている。 ③地域の方が参加しやすいスポーツ活動を模索する。 	より多くの方に体育館実施教室に参加いただけるよう、広報かがわりに掲載、HPの更新等、周知に力を入れる。また、SNSの利用も検討する。 令和5年度は多くのイベントが実施予定のため、掲載内容に誤りが無いか確認し、ミスなく利用者様に周知を行う。
			運動公園陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> ①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、水曜コースは701名の参加があった。土曜コースは675名の参加があった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、前期484名、後期423名の参加があった。 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの教室開催となったが、全日程を無事に終えることが出来た。引き続き、参加者が安全に参加出来る教室開催を目指す。 ②投てきコース 中学生対象の教室で県大会や全国大会の大舞台での活躍を目指したトレーニングを実施した。昨年度は94名の参加があった。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し教室を開催した。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行った。昨年度は290名の参加があり、前年度と比べると2倍近く増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、バランスの取れた身体作りを基本とし、春から秋にかけては、短距離走、リレー、走り幅跳び等、冬は長距離走や駅伝の練習を行う。1年を通して参加出来る教室の実施を目指す。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とする。砲丸投げ、円盤投げを中心とした専門的なトレーニングを行う。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行う。広報掲載により更なる参加者の獲得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①毎年多くの生徒が参加され、地域に浸透している教室なので、より多くの参加者獲得を目指し、参加する生徒さんに満足頂けるような教室を実施する。 ②教室の参加者、卒業生が、中学、高校に進学し、大会で素晴らしい活躍をしている。引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 ③昨年度のリフレッシュウォーキング教室は多くの新規参加者が増え、地域に浸透しつつある。継続して参加出来る教室開催を目指す。
			日岡山体育館	<ul style="list-style-type: none"> ①ワクチン接種会場になった場合に、できる限り武道館で教室を実施した。 ②感染予防をしながら教室やイベントを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①前年度までワクチン接種会場等により実施できなかった事業をできる限り展開する。 ②感染対策をしながら教室やイベントを開催する。 	しばらく教室やイベントが開催できなかったため集客に工夫が必要。
			武道館	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者のニーズに合わせた、教室を展開できた。 ②7施設全体を使ったイベント(親子スタンプラリー)は新型コロナの影響で中止となった。 ③新規利用者及びリピーターによる利用促進を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者のニーズに合わせた、教室やイベントを展開する。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③新規利用者及びリピーターによる利用促進を行う。 	コロナで不参加になった利用者を呼び戻す対策が必要。
			日岡山公園グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ①年齢帯に合わせた、サッカースクールを展開した。 ②子供を対象にした単発イベントを開催した。 ③各団体と協働した大会を開催した。(グラウンドゴルフ親睦大会等) 	<ul style="list-style-type: none"> ①年齢帯に合わせた、サッカースクールを展開する。 ②子供を対象にした単発イベントを開催する。 ③各団体と協働した大会を開催する。 	コロナで不参加になった利用者を呼び戻す対策が必要。
			日岡山公園第1テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者ニーズに合わせた備品購入(老朽化したネットの交換)を行った。 ②7施設全体を使ったイベント(親子スタンプラリー)は新型コロナの影響で中止となった。 ③各団体と協働した大会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者ニーズに合わせた備品購入を行い、満足度向上を図る。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③各団体と協働した大会を開催する。 	コロナにより前年まで中止になっていた大会やイベントの再開。
			日岡山公園第2テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> ①クラス設定を見直し、テニススクールの新規入会者を獲得した。 ②7施設全体を使ったイベント(親子スタンプラリー)は新型コロナの影響で中止となった。 ③テニススクール生を対象とした大会は新型コロナの影響で中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ①クラス設定を見直し、テニススクールの新規入会者を獲得し利用者数の増加を図る。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③テニススクール生を対象とした大会を開催する。 	冬場(1月から2月末)に放射冷却によりコートが凍結し利用できなくなる。
			漕艇センター	<ul style="list-style-type: none"> ①漕艇センター主催「第12回KAKOGAWAスプリングカップボート大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大が収束しないことから中止とした。 ②加古川ボート協会主催「第76回県民大会兼第23回加古川市長杯市長杯ボート競技会兼第31回全国市町村交流レガッタ潮来大会選考会」は、22クルー約97名が参加した。全国市町村交流レガッタ潮来大会には5クルーを派遣した。 「第10回加古川ボート会長杯～ムサシ杯レース～」は新型コロナウイルス感染症拡大が収束しないことから中止とした。 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「第29回加古川市民レガッタ」は、68クルー 476名が参加した。 「第33回加古川レガッタ」は11/4～11/6に実施、19大学・学部127クルー 347名が参加した。 ④漕艇センターと加古川ボート協会との共同主催「Head of the kakogawa2022」は参加者が集まらず中止とした。 ⑤ボート体験教室は学校を含め、年間を通じ462名が参加した。セミナー(アドラー心理学)は3回コースで実施し59名が参加した。 ⑥ニッケパークタウンでのエルゴマシントレーニング体験会は新型コロナウイルス感染症拡大が収束しないことから中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ①漕艇センター主催「第13回KAKOGAWAスプリングカップボート大会」を開催予定。 ②加古川ボート協会主催「第77回県民大会兼第24回加古川市長杯市長杯ボート競技会兼第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会選考会」、「第11回加古川ボート会長杯～ムサシ杯レース～」を実施予定。 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「第30回加古川市民レガッタ」、「第34回加古川レガッタ」は実施する予定で準備を進めている。 ④漕艇センターと加古川ボート協会との共同主催「Head of the kakogawa2023」を実施予定。 ⑤ボート体験教室及びセミナー(アドラー心理学)を実施予定。 ⑥ニッケパークタウンでのエルゴマシントレーニング体験会を実施予定。(5月3日)カヌー体験や体力測定も予定。 	前期に実施予定であった漕艇センター主催事業スプリングカップボート大会が新型コロナ感染拡大が収まらず中止となったが、以降の大会に関しては、加古川水域における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき実施した。3年ぶりの大会となり参加者が思うように集まらず中止した大会もあった。市民レガッタに関しては熱中症対策が課題、加古川レガッタでは宿泊場所と浴場確保が課題となる。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等	
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	ウェルネスパーク	<p>①子供の体力向上とスポーツ活動の推進 親子レクリエーションはコロナの影響で中止となりましたが、ニュースポーツ体験(モルック)を通し子供の体力向上・体を動かす喜びを感じてもらえた。</p> <p>②ライフステージに応じたスポーツの推進 高齢者運動教室は、筋力アップ・体の柔軟性アップなど内容を充実させることができた。</p> <p>③スポーツに関心のない人へのはたらきかけ レッスンプログラムの定期的な見直しを図り、様々なお客様が参加できるように提案した。外部に出向く運動教室はコロナの影響で実施できていない。令和5年度に再度計画している。</p>	<p>①世代間交流を活かしスポーツ活動の推進 子ども・親子・おじいちゃんおばあちゃん3世代が交流できるスポーツ活動を計画し提供予定。</p> <p>②インクルーシブスポーツの推進 障害の有無に関わらず、すべての人がスポーツに親しむことができる環境作り・プログラムを実施予定。</p> <p>③外部からの新規利用者の獲得や宣伝 施設で実施している「高齢者運動教室」の施設外での営業を行い、ウェルネスパークにご案内・宣伝を行う。</p>	<p>コロナに対する考え方に変化ができており、日常生活へと戻っていく流れになっているため、加古川市民の皆様健康に寄与できるように様々な健康プログラムを検討し・実施する。</p>	
			スポーツ交流館	<p>①施設の充実 広報活動等により施設を知っていただくことができ、施設利用につながっている。</p> <p>①子育て世代を対象とした教室事業の充実 親子スイミングや幼児スイミング、乳幼児わくわく体操やベビーマッサージ、産後の骨盤調整ヨガなどを実施。広報により認知も高まり、利用者数も増えている。</p> <p>②多様なウェルネスプログラムの展開 幅広い年齢層の方にご参加いただいている。今後も利用者と意見交換をおこない、ニーズに合わせたプログラムを展開する。</p> <p>③障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会の実施。 ポッチャ体験会や輪投げ体験会を実施</p> <p>④教室体験会の実施 体験会を行うことで教室申し込みへとつながっている。</p>	<p>①施設の充実、美化促進 プール及びジムの利用促進、消毒活動の実施</p> <p>②子育て世代を対象とした教室事業の充実 教室事業を中心に子育て世代や親子で参加していただける教室を継続展開する。</p> <p>③多様なウェルネスプログラムの展開 幅広い年齢層の方にご意見交換をし、ニーズに沿ったプログラムを展開予定。</p> <p>④障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会の実施。 体験会等を実施予定。</p> <p>⑤教室体験会の実施、広報活動 各教室の体験会・見学会の実施。</p> <p>⑥フリーペーパーの活用 施設情報や教室情報を掲載。</p>	<p>障がいをお持ちの方が安心して更衣できる環境下ではないため、利用者に応じた対応をおこなっているが、利用時に別の着替えスペースの確保等が必要である。</p>	
			志方体育館	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。	
			日岡市民プール	<p>①感染対策で瞬間利用者数の上限を決めて、利用者に安心感を与え運営できた。</p> <p>②ソーシャルディスタンスの確保。カラーコーン等を使用してお客様同士の距離をとった。</p>	<p>①施設、設備のメンテナンスを計画的に行い、満足度を高める。</p> <p>②感染対策をしながら運営する。</p>	新型コロナウイルス感染対策の緩和判断。	
			志方東公園テニス	<p>①withコロナに合わせたマシンのレイアウト変更を行い。密着を防止するためのマシンの配置を行った。</p> <p>②新規利用者獲得に向けHPなどで情報を発信した。</p>	<p>①感染対策をしながら、利用者コミュニケーションを取り安心安全な施設運営を行う。</p> <p>②新規利用者獲得に向けHPなどで情報を発信する。</p>	新型コロナウイルス感染対策の緩和判断。	
			トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	<p>①withコロナに合わせたマシンのレイアウト変更を行い、密着を防止するためのマシンの配置を行った。</p> <p>②新規利用者獲得に向け、HPなどで情報を発信した。</p>	<p>①感染対策をしながら、利用者コミュニケーションを取り安心安全な施設運営を行う。</p> <p>②新規利用者獲得に向け、HPなどで情報を発信する。</p>	新型コロナウイルス感染対策の緩和判断。
			トレーニングジムの利用促進	総合体育館	トレーニングジム器具の消毒、ジム内の換気を徹底し、コロナ禍でも安心安全に利用できる環境づくりを行った。	引き続きコロナ対策の徹底を図り、コロナ禍で中止していたInBody体験会、スタジオレッスンの実施を検討する。	朝のスタジオレッスン再開や、InBody体験会開催により、コロナ禍で減少した利用者獲得を目指す。
			プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	スタッフ教育を実施し、積極的な声掛けを意識し営業にあたった。しかし、ジム内での説明に満足されていないお客様もおられるため、令和5年度もしっかりとご案内ができるようにスタッフ教育をする。	ジム利用者への積極的なアドバイス・不安な方へのアプローチを、スタッフ教育を通して強化する。高齢者の利用が多いため、訓練(避難訓練・傷病者対応・プール救助訓練)などを行い、施設利用の皆様が安全にご利用いただけるように、様々な訓練を行う。	ジム・プールの利用者数が戻りつつあるため、利用する皆様安全・快適にご利用いただけるように様々な工夫が必要になっている。
			プール及びジムの利用促進	スポーツ交流館	<p>①開館時間の延長 9:30~21:30の営業時間を前後30分延長。9:00~22:00の営業を継続実施。</p> <p>②「ラウンドフィットネス®」の設置。 ジム・プールとは別のツールを導入することで、飽きのこない施設づくりにつながっている。</p>	<p>①開館時間の延長 9:30~21:30の営業時間を前後30分延長。9:00~22:00とする。</p> <p>多様なライフスタイルに貢献する。</p> <p>②「ラウンドフィットネス®」の設置。</p> <p>③フリーペーパーの活用 施設情報や教室情報を掲載。</p>	障がいをお持ちの方が安心して更衣できる環境下ではないため、利用時に別の着替えスペースの確保等が必要である。
			競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	昨年12月から中学生合同部活動がスタートした。第1種公認検定のため主競技場の改修工事を行い、3月1日から利用を再開した。備品の状態確認、消毒を行い、利用者が安全に使用できるよう努めた。	引き続きコロナ対策の徹底を図り、利用者が満足する施設運営に努める。	より多くの方に陸上競技場を利用いただけるよう、広報かがわに掲載、HPの更新等、周知に力を入れる。また、SNSの導入も検討する。 綺麗な加古川運動公園陸上競技場を保つため、日々の清掃活動に力を入れる。
<再掲> 総合体育館改修事業	スポーツ・文化課			障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用については検討していく。			

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
②	学校体育施設等の開放	学校体育施設等の開放	教育総務課 学校施設課	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用した。令和4年度は、施設の老朽化対策として、神野小、氷丘中床改修、加古川小外11校、加古川中外4校でリースを活用した照明設備取替を実施した。	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。令和5年度は、施設の老朽化対策として、陵南中床改修、加古川養護学校照明設備改修、別府小外11校と神吉中外2校でリースを活用した照明設備取替を実施予定である。	学校体育施設のフローリングや照明設備等が老朽化しているため、計画的な改修や修繕を進めていく。
③	スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	スポーツ施設等予約システム	スポーツ・文化課	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを提供し、スポーツ施設の利用手続きを簡素化した。	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを継続する。	予約システムにて「すばーく加古川」の予約ができるよう検討が必要である。
(2) 観戦スポーツの推進						
①	スポーツ大会の情報提供	Bリーグ加古川大会	スポーツ・文化課	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供した。 日時: 令和5年3月18日(土)・19日(日) 場所: 総合体育館	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供する。 日時: 令和5年3月予定 場所: 総合体育館	なし。
		Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会	スポーツ・文化課	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰であるVリーグ女子公式戦を開催した。 日時: 令和4年11月12日(土)・13日(日) 場所: 総合体育館	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰であるVリーグ女子公式戦を開催する。 日時: 令和4年11月予定 場所: 総合体育館	なし。
②	大規模競技大会の誘致	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致	政策企画課 スポーツ・文化課			陸上競技場などを活かした大会誘致の検討が必要である。
③	身近な観戦スポーツの推進	スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	掲載なし。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
(3) スポーツボランティアや指導者の発掘と養成						
①	スポーツボランティアの養成・確保	指導者研修会の情報提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行った。	県スポーツ協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施した。	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施予定。	大会の安全確保のため、AED講習の継続及び救護体制の強化を目指す。
		加古川カップ綱引大会審判講習会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者で担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等) その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施し、大会参加者(チーム)に対しても綱の引き方指導を行った。 また、広報で、審判員のボランティアを募集した。	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者で担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等) その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施予定。 また、広報で、審判員のボランティアを募集する予定。	当日の審判について、加古川市スポーツ推進委員に頼りすぎている傾向がある。加古川市スポーツ協会内で、さらなる審判員の養成を検討する必要がある。
②	スポーツ指導者の養成・確保	<再掲> 加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを縮小開催したことから、活用の機会がなかった。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	スポーツサポーターの活用方法等を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和4年度の取り組み結果	令和5年度実施予定	課題・検討事項等
(4) スポーツについての情報発信						
①	多角的なスポーツ情報の提供	広報かこがわ情報	広報・行政経営課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施が決定した事業について、周知に努めた。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施が決定した事業について、引き続き周知に努める。	参加申込につながるような周知に努める。
		<再掲> スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	掲載なし。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
②	スポーツの情報発信方法の工夫	市スポーツイベント情報	スポーツ・文化課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧できるため、大会スケジュールや教室等の情報掲載を各施設へ促進する。	こまめに更新し、常に最新の情報が掲載されている状態を維持していきたい。
		スポーツ推進委員だよりのHP掲載	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ(第59号)」を2月に発行した。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPに掲載を行い、身近な体づくりやスポーツ情報を提供した。	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ(第60号・第61号)」を発行予定。(年2回)。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPへの掲載、またイベント参加市民への配布により情報提供に努める。	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ」を活用した効果的なイベント及びスポーツ推進委員の周知の検討が必要である。
		播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	スポーツ・文化課	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」で掲載しているが、十分に活用できなかった。	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」を十分に活用して発信するとともに、スポーツ情報についても情報共有を行っていく必要がある。	ホームページの活用が十分にできていなかったため、情報提供や周知方法について検討する必要がある。
(5) 総合型地域スポーツクラブの充実						
①	NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	ビジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している37種目をホームページや募集チラシで広報し会員の増加を図った。また「新型コロナウイルス感染症」への感染防止対策をしながらエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催や開設スポーツ活動を通して市民のスポーツ実施率の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発も図った。	ビジョン・ミッションを行動指針としてクラブ運営をアップデートしながら、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している37種目をホームページや募集チラシで広報する。またエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催や開設スポーツ活動を通して市民への認知度の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発を図る。さらに日本スポーツ協会登録クラブとして全国の登録クラブとの情報の共有を図り、魅力あるクラブ運営を目指す。	①人材発掘・育成 ②活動施設確保・充実 ③財源確保(認定NPO法人取得への取組) ④クラブの魅力づくり(総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度への取組) ⑤地域貢献・交流 ⑥スポーツ指導者育成(バラスポーツ含)及び中学校部活動への支援
		スポーツクラブマネージャー研修会	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	運営委員会(毎月開催)→エリアマネージャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行った。また、マネジメント資格取得研修会に参加しアシスタントマネージャー資格を1名が取得した。	運営委員会(毎月開催)→エリアマネージャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。指導者研修会の開催(中学校部活動への支援)及び公認スポーツ指導者資格取得の推進。	①指導者養成講座の開設 ②エリアクラブ運営役員の新陳代謝促進
②	地域の課題解決に向けた取組の推進	クラブハウスの利用促進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードゲーティング、書道、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体が利用した。	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードゲーティング、書道、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体の利用を促進する。	①老朽化に伴う修理補修
③	運動部活動への協力体制の拡充	準備委員会等の開催	スポーツ・文化課 学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数-32名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和4年度配置 配置校-11校(加古川、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数-16種目(野球3名、バレーボール4名、バスケットボール2名、ソフトテニス2名、陸上競技3名、柔道3名、剣道4名、バドミントン2名、ハンドボール1名、卓球1名、吹奏楽2名、生活1名、コーラス1名、演劇1名、国際交流1名、美術1名)	加古川市中学校部活動外部技術指導者数-32名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和5年度配置予定 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数-未定	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズは年々高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。加えて、令和3年2月17日付け文科省通知「『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』」を受けて、本市における部活動についてのあり方を検討するとともに、外部技術指導者に係る規則の整備など、引き続き検討していくことが必要である。